

## インドネシア水道に係る情報収集 No. 200701-1J

検索サイト	Google	実施日	2020/07/01	実施者	TADOKORO
<p>検索方法：「インドネシア 飲料水」で検索</p>					
<p>URL： <a href="https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/1000042196.pdf">https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/1000042196.pdf</a></p>					
<p> <b>標題： インドネシア国都市給水の水質および供給力を向上するための送配水管内洗浄案件化調査 業務完了報告書</b> </p> <p style="text-align: center;">                 2020年1月 独立行政法人国際協力機構（JICA） 中里建設株式会社             </p>					
<p>・インドネシア国は都市への人口集中が顕著であり、都市部における安全な水道水へのアクセスが不十分である。水道セクターは配管整備に投資の重点が置かれ、既設水道管の維持管理の優先順位は低い。</p> <p>・アクアピグ工法は、水道管内に、圧縮と復元力を持った発泡ウレタン製の洗浄器具であるアクアピグを水圧によって送り込み、物理的な摩擦を利用して堆積物を管外へ排出する洗管技術であり、上水の水質改善効果と流量回復効果が期待できる。日本においては、既に42,653mの施工実績があり、現場でその効果が実証された日本固有の技術と位置付けられる。現地調査の結果、アクアピグ工法に加え、配水池の清掃のために水中ロボットの利用についてもニーズがあると判断されたため、本文では、その技術概要を併せて記載した。</p> <p>・2019年8月1日にインドネシア国ブカシ県の水道公社（ブカシ県 PDAMPDAM1）と協力し、ブカシ県 PDAM 傘下の Setia Mekar 支所管轄区内のスラウェシ通り Jl. Sulawesi 沿いの水道管 140m をパイロット地区として選定し、公開施工を実施した。本公開施工では、西ジャワ州の主要な水道公社（PDAM）を招聘し、現場で施工を実施した。その後、水道技術研修センター（BTAM）に移動し、ワークショップを開催し、アクアピグ工法のインドネシアへの現地適合性を議論した。それに基づく普及の課題と教訓を以下に示した。</p>					
<p>備考 20180903-2J.pdf 「中里建設、インドネシアで水道洗浄 特殊工法事業化へ」で紹介した「案件化調査」の報告書である。</p>					